【活動状況　令和７年第３号】
「ＫＲＰフェス２０２５」における企業向けセミナーの開催結果について

令和７年７月 31 日、京都リサーチパークにおいて、京都府警察サイバー対策本部、公益財団法人京都高度技術研究所、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社及びアムティーボ・ジャパン株式会社共同によるセミナー「知っておくべきサイバーセキュリティ対策２０２５～未来を守るための鍵～」を開催しました。

「ＫＲＰフェス２０２５」のイベントとして開催され、それぞれ「防犯」「技術」「保険」「認証」の各分野において最新情報を発信した本セミナーでは、会場及びオンラインで 145 名（リモート 86 名）人もの方が参加されました。

後援：京都事業者サイバーセキュリティ支援ネットワーク

【第一部】

▼題名：「サイバー犯罪の現状と対策」

講師：京都府警察サイバー対策本部サイバー企画課　官民連携推進係長

最近のサイバー犯罪の情勢を踏まえ、フィッシングやサポート詐欺のほか、パスワードの適切な管理など、事業者の方に気を付けていただきたいサイバー犯罪の手口や対策についてご紹介しました。

▼題名：「デジタル製品の脆弱性対策で注目されている SBOM について」
講師：公益財団法人　京都高度技術研究所（ASTEM）

サプライチェーン攻撃対策などにも有効とされる SBOM（Software Bill of Materials）について、導入の目的・メリット、普及課題と ASTEM での取り組みなどを分かりやすく紹介されました。

【第二部】
▼題名：「実被害から考えるセキュリティ対策」～事後対策の重要性～
講師：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

ランサムウェアなど、中小企業におけるサイバー攻撃の被害例及び被害額の紹介、サイバー攻撃の事後対策の重要性とサイバー保険について紹介されました。

▼題名：「英国政府サイバーセキュリティ認証」
～サイバーエッセンシャルズについて～
講師：アムティーボ・ジャパン株式会社

サイバー攻撃から組織を守る英国政府公認の IT セキュリティ基準であるサイバーエッセンシャルズについて、認証制度やメリットについて紹介されました。

受講者からは、

- 警察ならではの視点で、身近な実例を挙げての説明で分かりやすかった。
- SBOM という新しい言葉、要素を聞けたことが良かった。
- 攻撃された場合の費用を考えると事後対策は必須だと思った。
- サイバーエッセンシャルズの生きた情報はなかなか得られないので、大変参考になった。
- 短時間で非常に有用な情報収集ができ嬉しく思った。

等の感想が得られました。

［セミナー講師派遣ページについて］
当ホームページでは、セミナーなどへの講師派遣依頼も受け付けております。
情報セキュリティに関するセミナー開催等をご検討中の方は、ぜひご活用ください。

▽講師派遣に関する詳細▽
https://www.ksisnet.kyoto/executive/dispatch